



神奈川県生活協同組合連合会

第71回通常総会が終了しました

神奈川県生活協同組合連合会は、2022年6月28日、横浜市内で第71回通常総会を開催しました。昨年に続き、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して行いました。総会代議員定数75名に対し、採決時75名(本人出席21名、書面出席51名、委任出席3名)が出席し、第1号議案「2021年度事業活動報告承認の件」、第2号議案「2022年度活動方針及び収支予算承認の件」、第3号議案「2022年度役員報酬限度額承認の件」、第4号議案「役員補充選任就任の件」について提案され、すべての議案が賛成多数で可決・承認されました。

発言は文書発言で行い、川崎医療生協、医療生協かながわ、慶應義塾生協、神奈川大学生協、ユーコープ、バルシステム神奈川、福祉クラブ生協、生活クラブ生協の代議員から、コロナ禍での医療生協、大学生協の状況について、健康づくりの取り組みや平和の取り組みについて、地域の課題に向けた生協の役割について、発言がありました。

■ 開催日／2022年6月28日(火) 10:30～11:35

■ 会 場／ワークピア横浜 2階 おしどりくじゃく

■ 代議員出席状況／27会員 代議員総数75名

採決時出席代議員数75名(本人出席21名、書面議決出席数51名、委任出席数3名)

■ 来 賓／3名

神奈川県くらし安全防災局 参事監兼くらし安全部長 加藤 雅道 様

神奈川県労働者福祉協議会 事務局長 市川 敏行 様

神奈川県農業協同組合中央会 専務理事 二宮 務 様

■ オブザーバー／7名

神奈川県農業協同組合中央会、日本生協連中央地連、中央労働金庫生協部、中央労働金庫神奈川県本部、生活協同組合ユーコープ、日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川県事業本部、インターネットジャーナル(株)

■ メッセージ・祝電を寄せていただいた皆さま／221通

■ 運営協力／ワークピア横浜、インターネットジャーナル株式会社





2022年度神奈川県生活協同組合連合会 役員体制

理事

代表理事会長	當具 伸一	生活協同組合ユーコープ 代表理事理事長
代表理事専務	庭野 文雄	神奈川県生活協同組合連合会 専務理事
常務理事	澁谷 光広	富士フィルム生活協同組合 専務理事
常務理事（新任）	鶴見 純恵	生活クラブ生活協同組合 常務理事
常務理事	野村 晃一	全日本海員生活協同組合 専務理事
常務理事（新任）	正田 良幸	横浜国立大学生生活協同組合 専務理事
常務理事	水谷 清一	神奈川北央医療生活協同組合 専務理事
常務理事	渡邊 たかし	生活協同組合パルシステム神奈川 専務理事
常務理事	郷野 智砂子	生活協同組合ユーコープ 理事
理事	秋田 直樹	神奈川みなみ医療生活協同組合 専務理事
理事（新任）	櫻井 展子	生活協同組合ユーコープ 執行役員かながわ県本部長
理事	高橋 勇美	医療生協かながわ生活協同組合 専務理事
理事	滝澤 栄司	神奈川大学生生活協同組合 専務理事
理事	長谷川 伸行	生活協同組合うらがC O - O P 理事長
理事	星野 俊平	川崎医療生活協同組合 専務理事
理事	大場 英美	福祉クラブ生活協同組合 理事長
理事	嘉部 光代	生活協同組合うらがC O - O P 理事
理事	篠崎 みさ子	生活クラブ生活協同組合 理事長
理事	藤田 順子	生活協同組合パルシステム神奈川 理事長

監事

監事	片山 陽一	生活協同組合ユーコープ 常勤監事
監事	後藤 有里	慶應義塾生活協同組合 専務理事
監事	四之宮 信賢	神奈川県労働者共済生活協同組合 専務理事



フレイル対策の基本



前号に続き東京都健康長寿医療センター研究所の鈴木宏幸先生に「フレイル対策の基本」についてお聞きしました。

フレイルは何かしらの障害により要介護状態となる危険性が高まった状態であるとともに、フレイルの状態であれば何か手を打てばお元気な状態に戻る、もしくはお元気な状態に近づくことができるという点で注目されるようになりました。近年ではフレイルへの対策としてフレイルという状態にすらならないようにする、つまりフレイル予防に取り組むことの重要性が強調されるようになりました。

フレイル予防においてはこれまでの様々な研究成果から栄養、運動、社会参加が重要であるということが指摘されてきました(図1)。アイデアの元となっているのは要介護状態になりやすい人の特徴や生活習慣に関する、いわゆるリスクに関する研究です。例えば、地域住民の方を対象とした調査研究の中で『最近、食欲はあるか』、『1キロメートルぐらいの距離を問題なく歩くことができるか』、『2~3日に1度は外出するか』といった事を尋ね、その数年後の要介護状態の発生を検討してみると、質問に『ない』または『できない』と回答した方は要介護状態になる確率が高い(つまりリスクが高い)という事が分かってきました。多くの研究成果から要介護状態のリスクが明らかになることで、それではそのリスクを低減することが予防につながるだろうという発想が生まれました。少し具体的に表現すれば、日々多様な食品を食べてしっかりと栄養を摂取し、定期的に運動する習慣を持って身体を動かし、積極的に外出し様々な人と交流することがフレイル予防につながると考えられるようになりました。

最近になって、フレイル予防で取り上げられる栄養、運動、社会参加が実際に要介護状態の発生確率を下げ、さらに3つ全てを実施することが最も効果的であるということが示されました。これは、東京都健康長寿医療センター研究所の社会参加と

地域保健研究チームに所属する清野研究員が発表した研究成果で、地域で行われるフレイル予防の有効性を示す大変重要な資料となりました。

研究の内容を少し紹介したいと思います。東京都内の65歳以上の男女7822名(平均年齢73.6歳)を対象に、約3年半の期間をかけて調査にご参加頂きました。2016年時点の身体活動量(ややきつと感じる運動を週150分以上)、食品摂取多様性(魚介類、肉類、卵類、牛乳、大豆製品、緑黄色野菜類、海藻類、いも類、果物類、油脂類のうち、最近1週間ではほぼ毎日食べた食品群を1点として3点以上)、対面/非対面での交流(週1回以上)の3つについて有無を評価し、これらの充足数とその後の要支援・要介護認定の発生との関係を分析しました。その結果、これら3つの健康行動の充足数が増えるほど、要介護化リスクが大きく低減するという関係が明らかになりました(図2)。具体的には、3つの健康行動をいずれも実践していない群と比較して、要介護化リスクは、いずれか2つ実践している群で35%、3つすべて実践している群で46%、それぞれ統計的に有意に低くなっていました。

フレイル対策の基本とされる栄養、運動、社会参加は、欠けていればリスクとなりますし、逆に充足していれば予防につながるという事が明確になってきました。3つ全てに取り組むことも重要となりますので、日常生活の中で足りていないものが無い、足りない部分はどうすれば加えていけるかという生活習慣の見直しが必要になりそうです。

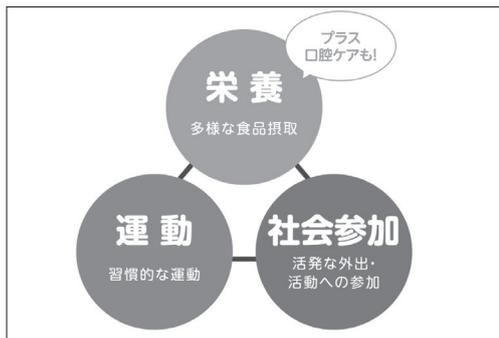


図1 フレイル予防の三本柱

(出典：地域で取り組む！フレイル予防スタートブック)

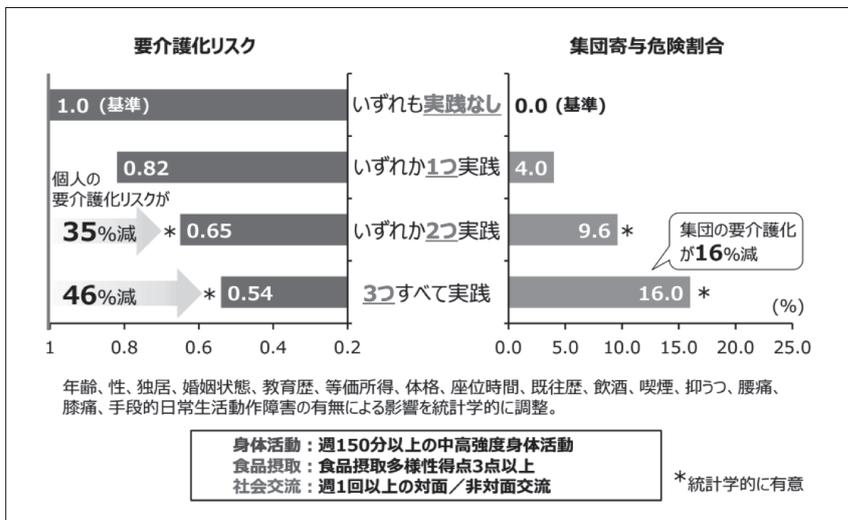


図2 身体活動・多様な食品摂取・社会交流活動の充足数別の要介護化リスクと集団寄与危険割合

(出典：Seino et al (2022) Combined Impacts of Physical Activity, Dietary Variety, and Social Interaction on Incident Functional Disability in Older Japanese Adults. Journal of Epidemiology を元にプレスリリース用に作成された図を使用)

公益社団法人 フードバンクかながわ 通常総会が開催されました



フードバンクかながわは、第5回通常総会を6月23日に開催し、全議案が可決承認されました。2021年度の取扱量は、寄贈いただいた食品が287トン（前年比137%）、提供した食品が270トン（前年比139%）と昨年を大幅に上回り、フードバンクかながわの役割と期待が大きくなっています。2022年度からは冷凍食品の扱いも始まるため、より一層の広がりが期待されます。

総会終了後、食品支援団体の活動紹介として、NPO法人ブラジルsolidário（ソリダリオ）横浜より、日ごろ情報が届きにくい外国につながる方のコロナ禍での状況と食支援の取り組みを、市の職員、市内企業、市民に広報し、市民参加型で食品を集め、食支援を進めている横須賀市の報告をいただきました。

現在の貧困の広がりや深刻化、食品ロスの現状からすれば、もっと活動の輪を広げなければなりません。「もったいない」を「分かち合い」～「ありがとう」へ、を合言葉に引き続きフードバンクの輪を大きく広げていきましょう。

■ 日時／2022年6月23日（木） 15:00～16:45

■ 会場／かながわ労働プラザ会議室



6つの生協運営協議会で 総会が開催されました

横須賀市生協運営協議会 総会のようす

神奈川県内では6つの地域（横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、大和市、藤沢市）で生協運営協議会が活動をしています。生協運営協議会は、生協間の協同と連帯をはかることはもちろんですが、地域においては生協を代表して市政への要望や提言、そして連携をはかることを役割としています。コロナ禍の総会開催ということもあり、感染対策を十分にとつてのリアル開催や、オンラインで開催をしたり、また総会后に学習会を行ったりと工夫をされての開催でした。



運営協議会 総会開催日

横浜市……5月30日（月） 11:30～12:15（オンライン開催）

川崎市……6月16日（木） 16:00～16:30（オンライン開催）

相模原市……6月21日（火） 15:00～16:00（オンライン開催）

横須賀市……6月24日（金） 10:30～ （リアル開催）

大和市……6月12日（日） 10:00～10:45（オンライン開催）

藤沢市……6月16日（木） 10:00～10:30（リアル開催）



川崎市生協運営協議会 総会のようす

2022年度 第1回 理事会報告

■ 日時／2022年6月28日（火） 11:40～12:05

■ 会場／ワークピア横浜 おしどり・くじゃく

〔議決事項〕

1. 神奈川県生協連 常務理事の選任について
2. 神奈川県生協連 理事の代行順位について
3. 2022年度 常務理事会及び理事会の議長計画について

〔協議事項〕

なし

議決事項について全員異議なく可決承認されました。